

# NPO法人 judo3.0

新しい公教育を創造する



judo3.0イメージキャラクター

# judo3.0のコンセプト 柔道で「つながる」機会を増やします

## judo3.0とは？

### 殺傷術

### 1.0 学ぶ柔道

秘伝の殺傷術(柔術)が国民の教育方法(柔道)へと再構築される。

オリンピック競技化  
(1964年)

### 2.0 競う柔道

オリンピックのスポーツとして大きく発展し、世界中のアスリートが競い、世界中の人々を魅了する。

### 3.0 つながる柔道

「柔道をはじめたら世界中に友達が100人できる」。文化や宗教など異なる背景を持つ人々と「つながる」ことができる方法として、広く普及する。

- 日本でのユニバーサル柔道コミュニティの創出
- 世界規模での柔道クラブネットワークの構築

# 目指しているもの みんなの幸せを願っています

## judo3.0が希求する未来

### 子どもたちが、 グローバルで生き活きと生きる

- 子どもたちが世界に羽ばたき、社会課題を解決する原動力になる
- 知識の獲得を超えた、「世の中を良くする力」を得られる教育が提供されている

### 誰もが心身の安定を得る

- 心身の健康を維持する方法を多くの人を知り、人生の質が向上する
- 地域社会に互いに助け合う「相助相譲」の仕組みが構築され、誰もが「居場所」を見つけることができる

「精力善用・自他共栄」を通じた  
**みんなの幸せの実現**

# 私たちの活動①日本から世界へ 子供達が海外で柔道する機会を提供します

2015年12月  
ハワイ15名



2016年3月  
インドネシア9名



2016年3月  
タイ3名



2016年12月  
カナダ2名



【引率】  
三浦照幸先生  
東京柔道整復  
専門学校学監  
講道館指導員



【受入道場】  
仙石常雄先生  
インドネシ  
ア・バリ島に  
仙石道場を  
開設

2017年2月  
アメリカ1名



2017年3月  
インドネシア25名



のべ7か国55名

1. 草の根の国際柔道交流を支援します。
2. どの道場・学校に所属していても、海外で柔道する機会を提供します。
3. 「これからは英語と柔道だよね」と言われるようなグローバル教育としての柔道の認知を目指します。

# 私たちの活動②世界の青少年が日本へ 地域の柔道クラブの国際化を後押しします

## 4か所での国際キャンプ(2017年3月)

## 柔道クラブの国際化



広島・三次柔道会で送別会



愛知・大成高校での稽古

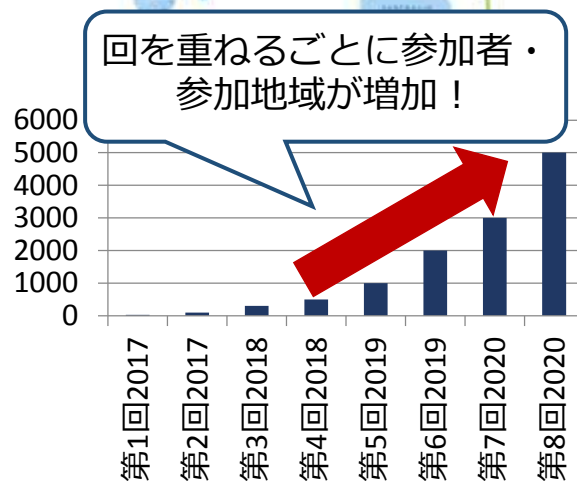


静岡産業大学での稽古



山口・望星館での文化体験

2017年3月18日から4月2日まで、3名の海外の柔道家（アメリカ・プエルトリコ）が来日し、広島・山口・愛知・静岡・にて(国内15の道場)、国際柔道交流を実施しました。

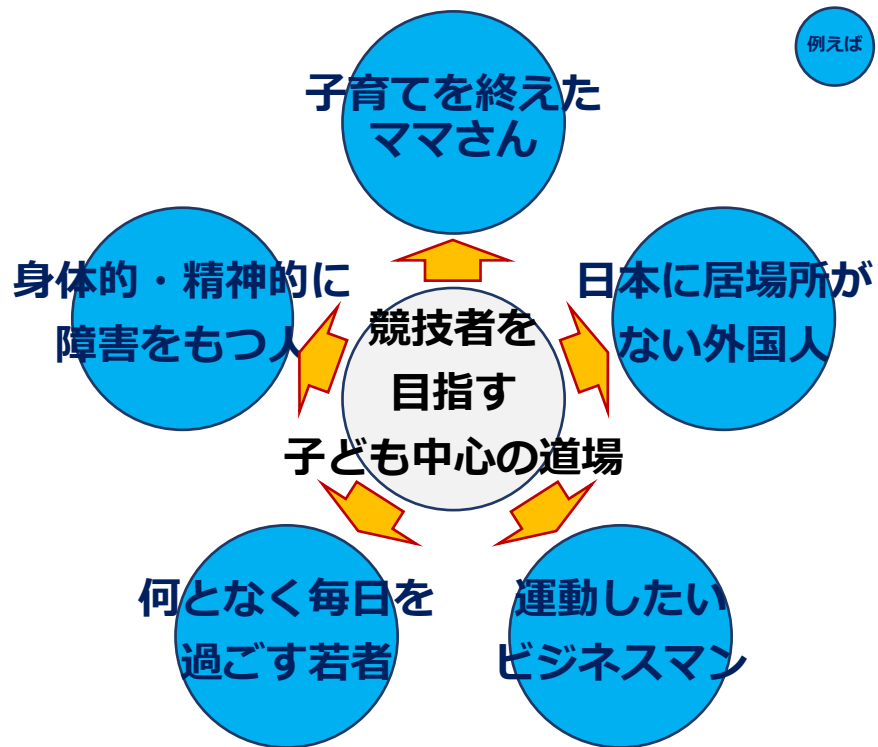


日本の地域の柔道クラブの魅力を再発見します。  
**東京オリンピックのレガシーとして、地域の柔道クラブの国際化を図ります。**

# 私たちの活動③誰もが柔道できる環境づくり 各地の柔道家を結ぶフォーラムを開催します

ユニバーサル柔道コミュニティの  
対象イメージ

例えば



全国各地で開催したフォーラム



健常者の子ども中心の柔道を、広げていく

全国 **17** 回開催。 **350** 人以上が参加

# 私たちの夢 柔道で「つながる」を軸にした学校を設立します

## 「柔道の学校」のイメージ

### ■ 対象

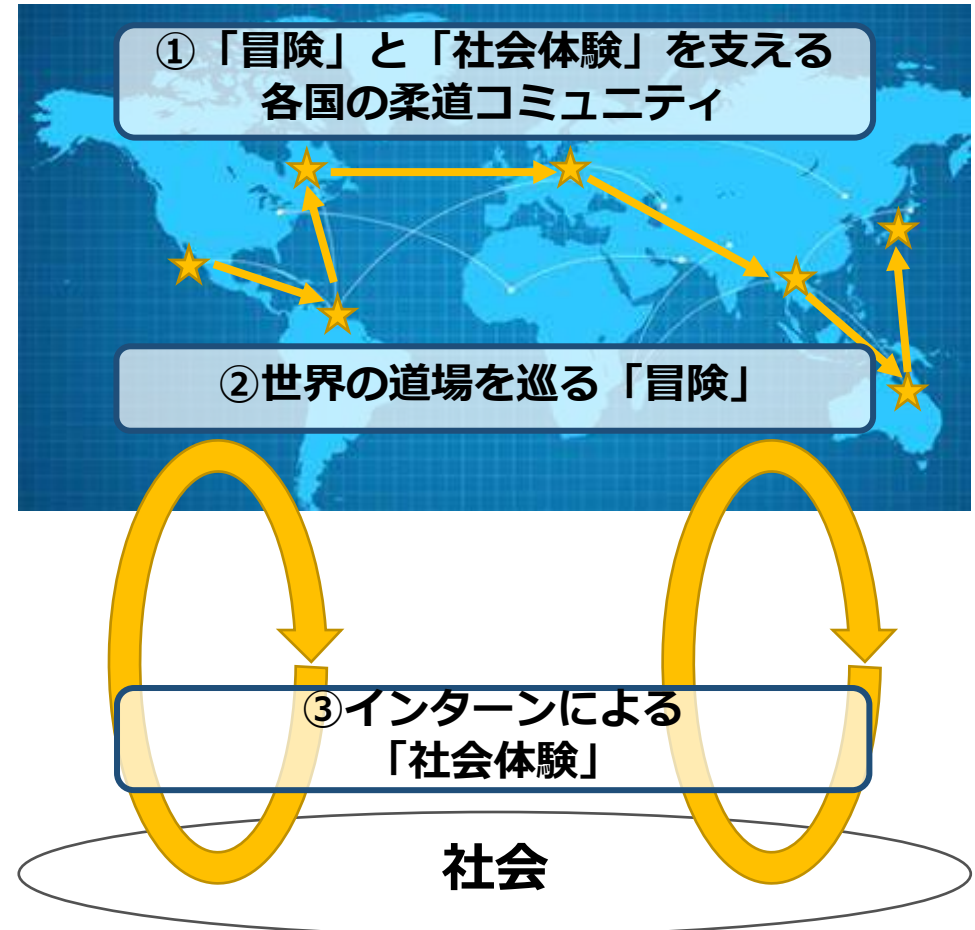
- 人格・身体能力の発育期であることに鑑み、中高生の時期の子どもたちを対象とする  
⇒先進事例：  
ISAK  
(International School Asia Karuizawa)

### ■ 形態

- キャンパスを持たない学校
- 学習内容が単位として認められ、大学進学資格が得られる  
⇒先進事例：N高校

### ■ カリキュラムの特徴

- 柔道修行を各国の柔道コミュニティを歴訪して行い、その土地で実施できるインターンシップを経験する
- 数十人の生徒にインストラクターが帯同し、共同生活を営む
- 所謂、従来型の知識獲得・情報処理型教育は、オンライン授業で提供する  
⇒先進事例：ミネルバ大学



# 団体概要



**代表理事：**  
**酒井重義**



**理事：大石公平**  
大成高校



**理事：長野敏秀**  
ユニバーサル柔道  
アカデミー



**理事：長谷川正仁**  
横浜土曜柔道会



**理事：渡邊城士**  
大阪港柔友会

## 【代表プロフィール】

酒井重義：宮城県女川町出身。宮城県石巻高校柔道部で柔道を習う。東北大学法学部・同大学院法学研究科修士課程を修了し、東京都内で弁護士として活動した後、近年の脳科学の研究などから「運動」に注目し、障害者の就労支援をする福祉施設に転職。その後、発達障害児向けの運動教室を運営する福祉施設での勤務などを経て、2015年1月、本活動を開始。

名称	特定非営利活動法人 judo3.0
ミッション	新しい公教育を創造する
代表	酒井重義
ホームページ	<a href="http://judo3.org/">http://judo3.org/</a>
Facebook ページ	<a href="https://www.facebook.com/adventurejudo">https://www.facebook.com/adventurejudo</a>
E-mail	<a href="mailto:judo3.0platform@gmail.com">judo3.0platform@gmail.com</a>
設立年	2015年1月（2017年10月25日法人格取得）